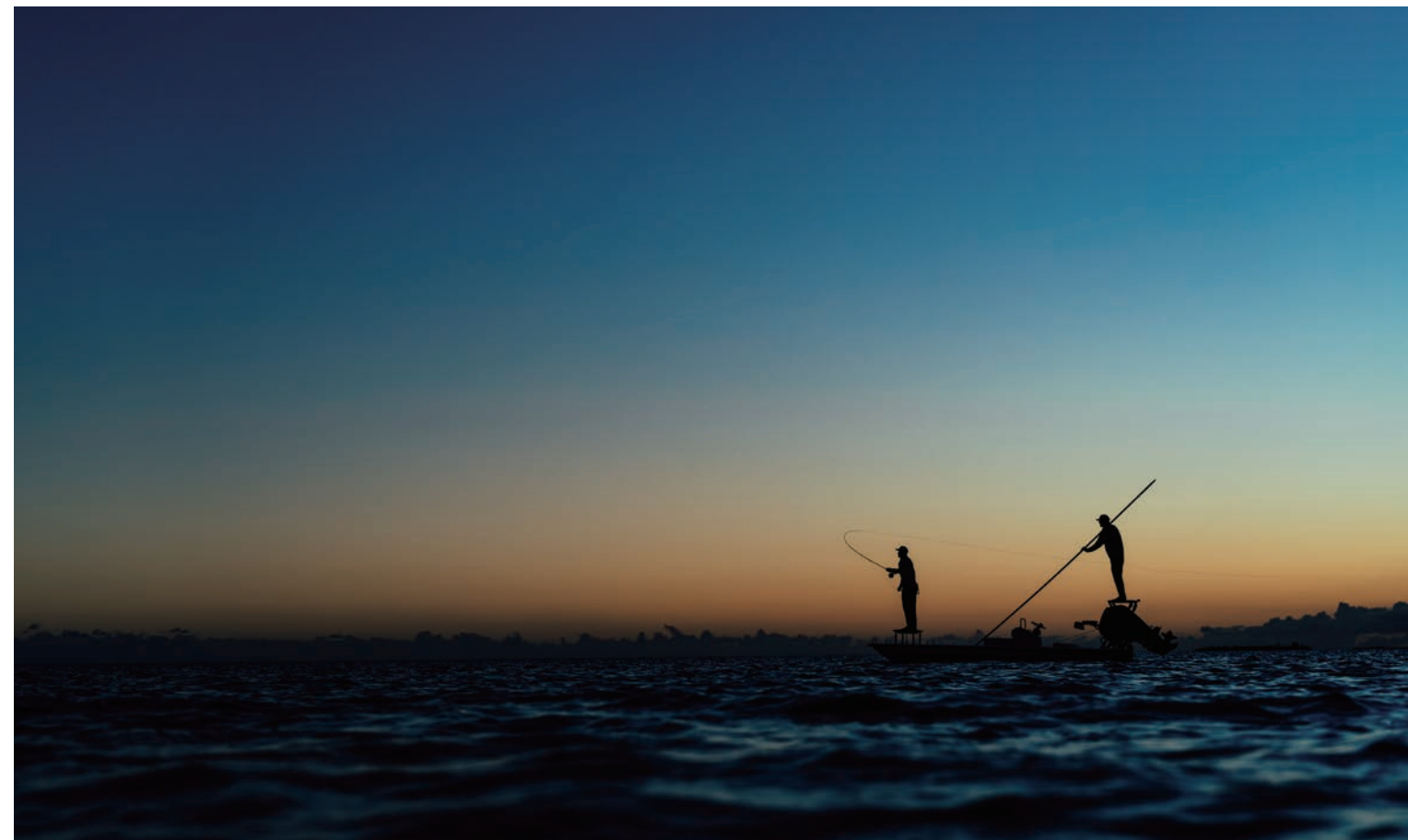


株主のみなさまへ

..... Vol.57

株主通信 第117期第2四半期

2023年1月1日～2023年6月30日





代表取締役社長

島野 泰三

事業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間におきましては、混迷が長引くウクライナ情勢、インフレ抑制のための各国中央銀行による利上げや米国の金融不安などが世界経済の下押し圧力となりました。

欧州では、エネルギー価格の低下によりインフレ率が鈍化したことで、消費者マインドは低水準ながらも緩やかな回復基調を見せました。

米国では、米国債のデフォルトが回避された一方、政治の混乱を背景とした不透明感から個人消費は低水準となりました。

中国では、移動制限措置が撤廃されて以降、経済活動の正常化が進みました。

日本では、外国人旅行客の増加など社会情勢の正常化が進み、賃上げや財政出動と金融政策の緩和継続などが、景気の回復を下

支えました。

このような環境の下、自転車、釣具への需要は引き続き弱含みであり、当第2四半期連結累計期間における売上高は263,250百万円（前年同期比13.3%減）、営業利益は53,908百万円（前年同期比33.4%減）、経常利益は68,409百万円（前年同期比25.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50,378百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

自転車部門

自転車人気の過熱感は一服したものの、長期的なトレンドとして自転車への関心は継続しました。一方で、引き続き需給調整は進んでいるものの、市場在庫は総じて高い水準で推移しました。

海外市場において、欧州市場では、春先の天候不順の影響もあり、完成車の店頭販売はやや低めで推移しました。市場在庫は一般的に高い水準で推移しました。

北米市場では、完成車の店頭販売は弱含みで推移し、市場在庫は高い水準で推移しました。

アジア・オセアニア・中南米市場では、自転車への関心は底堅かったものの、インフレ高進の影響を受けた消費者マインドの冷え込みにより、販売はやや低調に推移しました。一方、中国市場では、アウトドアスポーツとしてのサイクリング人気が続けられ、ロードバイクを中心に販売は好調に推移しました。日本市場においては、円安による完成車価格の高騰などの影響を受け、販売は低調となり、市場在庫はやや高めに推移しました。

このような市況の下、「105」をはじめとしたロードバイク向け高級モデル全般、また、電動アシストスポーツバイクコンポーネントSHIMANO STEPSシリーズなどの製品にご好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は204,986百万円（前年同期比17.7%減）、営業利益は42,093百万円（前年同期比39.5%減）となりました。

釣具

釣具に対する世界的な高需要は落ち着いたものの、アウトドアレジャーとして改めて認知された釣りへの関心は継続しました。

日本市場においては、従来からのコアな釣り人の新製品購入意欲は衰えず、高価格帯製品の需要は底堅く推移しました。

海外市場においては、北米市場では、需要の落ち着きもあり販売は弱含みで推移したものの、欧州市場の販売は安定した需要に支えられ堅調さを維持しました。

アジア市場では、釣り文化の浸透と釣りへの高い関心を受け、経済活動の再開も相まって釣行機運が高まりを見せ、引き続き販売は好調に推移しました。

豪州市場では、良好な市況でスタートしたものの、需要の陰りから販売はやや停滞しました。

このような市況の下、新製品のスピニングリール「VANQUISH」や最高級モデルのルアーロッド「WORLD SHAULA LIMITED」などの製品に多くのご注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は58,027百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は11,843百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

その他

当セグメントの売上高は236百万円（前年同期比4.9%減）、営業損失は28百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

中間配当のご報告

当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期から25円増配の1株当たり142円50銭とさせていただきます。なお、当期末の配当についても、1株当たり142円50銭とし、その結果当期の年間配当額は1株当たり285円を予定しております。

今後の見通し

2023年12月の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間において、依然として市場在庫は高い水準で推移する中、欧州市場における春先の天候不順で店頭販売はスローな出だしとなり、当社への下期需要の回復に遅れが生じる見込みとなったこと、また工場の減産が進む中、製造原価率の上昇を吸収することが難しい状況にあること、一方でドル高の進行に伴うアジア通貨安の影響から営業外収益が発生したこと等を踏まえ、下表のとおり変更いたします。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年9月

2023年12月期 通期連結業績予想数値の変更（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)	経常利益 (単位：百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (単位：百万円)	1株当たり 当期純利益 (単位：円)
前回発表予想 (A)	460,000	83,000	96,500	69,500	768.79
今回修正予想 (B)	450,000	70,000	93,000	69,000	763.24
増減額 (B)-(A)	△ 10,000	△ 13,000	△ 3,500	△ 500	
増減率 (%)	△ 2.2	△ 15.7	△ 3.6	△ 0.7	
前期実績 (2022年12月期)	628,909	169,158	176,568	128,178	1,408.22



かつてない “ユニーク”ソリューションで E-マウンテンバイクは さらに進化する

シマノが新たに開発した電動自動変速「オートシフト」「フリーシフト」。独自性と先進性を追求したその技術は世界でも認められ、自転車業界における新たな一歩となっています。二つの変速技術には、「マウンテンバイクをもっと楽しいものにしたい」というシマノの意気込みが色濃く映し出されています。

「オートシフト」は、手元のレバーによる操作を必要としない自動変速です。自転車の速度やケイデンス（ペダルの回転数）などを検知したE-BIKEのドライブユニットが電動変速機へと信号を送ることにより、自動的な変速を実現しています。例えばライダーが上り坂にさしかかった際には軽いギアへ、下り坂の場合は重いギアへとシフトします。走行中の変速操作に集中する必要がなくなることで、周りの景色や走ることそのものを楽しむことができます。

一方の「フリーシフト」は、ペダリングの要らない自動変速システムです。一般的な外装変速機付き自転車では変速時にペダルを漕ぐことが不可欠ですが、E-BIKEの場合はペダルの回転とチェーンの動きが独立しているため、内蔵モーターによってチェーンリングを回し、ペダリングなしでギアチェンジすることが可能になりました。

理想の変速をかなえる「オートシフト」&「フリーシフト」



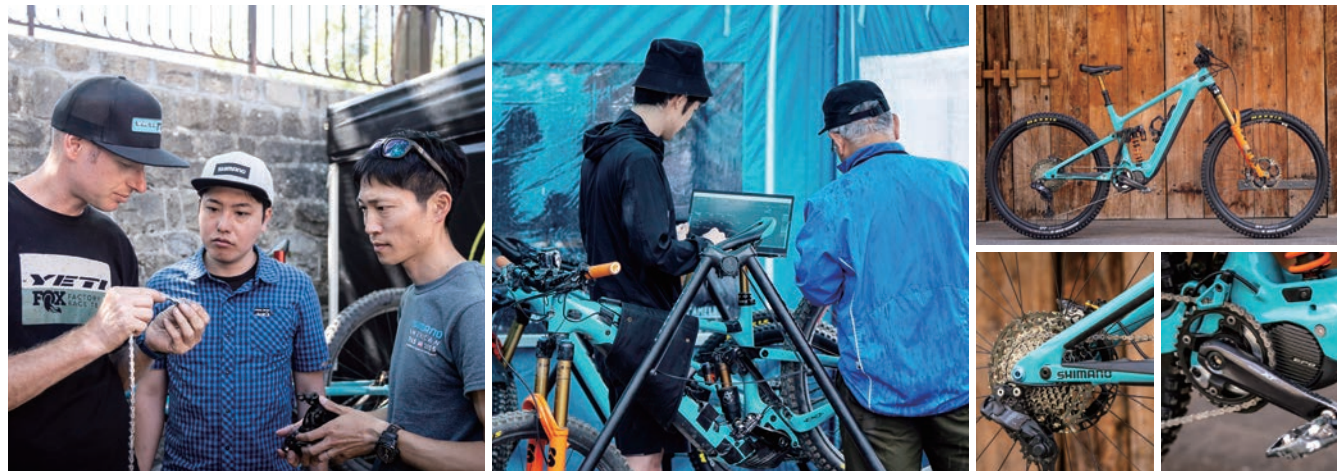
オートシフト

自転車の速度やライダーのケイデンス（ペダルの回転数）などを検知し、変速レバーの操作なしにギアを切り替える「オートシフト」。例えば上り坂にさしかかると、自動的に軽めのギアに切り替わり、ちょうどいい漕ぎ心地で走ることができます。



フリーシフト

ペダルを漕がずに変速できる「フリーシフト」。車速やケイデンスを計測し、次に漕ぎ出す際に最適なギアを予測して変速を行います。例えば、下り坂で走行スピードが上がると「ギアが軽すぎる」と予測し重いギアへ変速。次の漕ぎ出しでペダルが空回りすることなく思い通りに加速できます。



「YETI SHIMANO EP RACING TEAM」として E-マウンテンバイクレースへ本格参戦 トップレーサーからのフィードバックを開発に反映

オートシフトおよびフリーシフトの性能を高め、その技術を普及・拡大するためには、継続的な検証と精度の高いフィードバックが求められます。そこでシマノは、マウンテンバイクのプロレースチームと協働し、開発を行うための新たなプロジェクト「SHIMANO EP WORKS」を始動。当プロジェクトのために結成された「YETI SHIMANO EP RACING TEAM」として、技術の向上に取り組んでいます。当社開発担当がチームに同行し、E-マウンテンバイクのワールドカップ大会をはじめとする様々なレースに参加。ライダーそれぞれの走行パターンに合わせて、変速の最適性を探りながらより高いレベルへと引き上げています。

当技術は世界にも認められ、「ユーロバイク・アワード2023」では革新的かつ優れた新製品に贈られる最高栄誉の「金賞」を受賞。「極めて実用的な2つの変速システムは、まったく新しい変速

体験と高い市場ポテンシャルを秘めている」と評されました。ドライブユニットと電動変速の双方を開発する業界唯一の会社として、その矜持をオートシフトとフリーシフトという新たなソリューションへ反映した今回。シマノが踏み出したこの一歩は、マウンテンバイクの未来を切り拓くための序章にすぎません。プロライダーをはじめ、より多くの人たちに自転車の楽しさ、そして魅力を伝えていくために、わたしたちの飽くなき探究は続きます。

「ユーロバイク・アワード」は、国際的な自転車博覧会「ユーロバイク」で授与される、自転車および未来のモビリティ産業における革新的で高品質な新製品に贈られる最も権威ある賞です。



GOLD
WINNER

AWARD 2023

釣具事業

強靱な耐久性を軽量なボディに搭載 世界のアングラーを虜にするニューモデル



STRADIC

2019年の発売から4年、さらなる進化を遂げた新生「ストラディック」が誕生しました。特筆すべきは、当社のフラッグシップモデルである「ステラ」にも搭載されている「INFINITYテクノロジー」のうち、4つの機能を内蔵している点にあります。なかでも、新素材の高摩耗性ドラッグワッシャー「DURACROSS」を採用したことにより、ミドルクラスのスピニングリールではトップクラスを誇る耐久性を獲得しました。「大物を果敢に攻めたい」という想いに応えるべく生まれ変わった新「ストラディック」。世界中のアングラーを虜にするスピニングリールとして、これからも進化を重ねていきます。

目指したのは「濃密な体感」 バスセッション、4年ぶりの開催

2023年5月に「バスセッション in 大阪」を開催しました。4年ぶりとなる今回は「濃い体感」をテーマに掲げ、参加者の定員を50名とする抽選方式に変更。製品の試用やインストラクターとの交流に多くの時間を割くことができるように工夫しました。一方で抽選から外れてしまったお客様にもお楽しみいただけるよう、当日の様子は動画コンテンツとして配信。オフライン・オンラインの両軸でイベントを盛り上げました。お客様とのつながりや体感の大切さを改めて実感することができ、スタッフ一同にとっても特別な時間となりました。



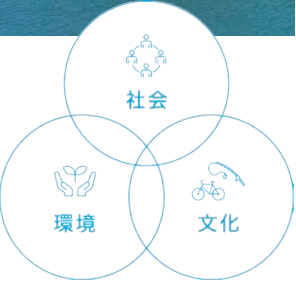
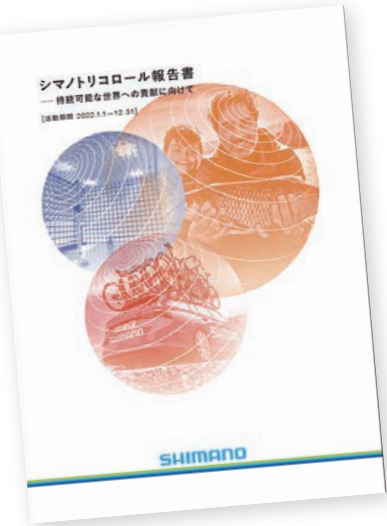


シマノトリコロール プロジェクト

シマノトリコロール プロジェクトでは、
「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する」
という当社のミッションに則り、環境・社会・文化というテーマで
持続可能な社会の実現に向けた様々な取り組みを継続してまいります。

プロジェクトニュース

持続可能な社会に貢献するための活動を伝える『シマノトリコロール 報告書』を発行



2023年、当社の社会活動をお伝えしてきた『社会活動報告書』の名称を変更し、『シマノトリコロール※報告書』を新たに発行いたしました。これまで、当社の事業分野である自転車や釣りは、自然の中で人のこころと身体の健康づくりに貢献するために存在するものと考え、そのすばらしさをより多くの方々に伝えるための様々な活動に取り組んでまいりました。新たな報告書の名称には、こうした社会活動を今後も継続・発展させ、当社の使命に根差して持続可能な社会に貢献していく決意が込められています。これからも、こころ躍る製品と健康的なライフスタイルをお客様にお届けするとともに、豊かな自転車文化・釣り文化を創造すべく、環境に配慮したもののづくりや地域貢献活動を積極的に進め、持続可能な社会の実現に向けて努力してまいります。

※「シマノトリコロール」はコーポレートロゴにある3色のラインに由来し、それぞれのカラーは「大地」「空」「海」を表すほか、当社の事業領域や目指している世界観を表現しています。

環境

使い捨てプラスチックの削減および資源の循環利用を推進

シマノでは流通で使用した後に廃棄されるプラスチック資材の循環利用を積極的に行っています。不要となった樹脂のパレットやコンテナ、ストレッチフィルム※等は有価物として業者へ引き渡し、リサイクルやリユースにつなげています。シマノ下関工場では、2018年より継続して樹脂パレットおよび容器の廃棄量ゼロを達成。堺のシマノ本社およびシマノセールスでも、各資材の廃棄削減を進めています。今後も資源の循環利用を推進してまいります。



※パレットに積んだ荷物を固定するために巻かれるプラスチックフィルム

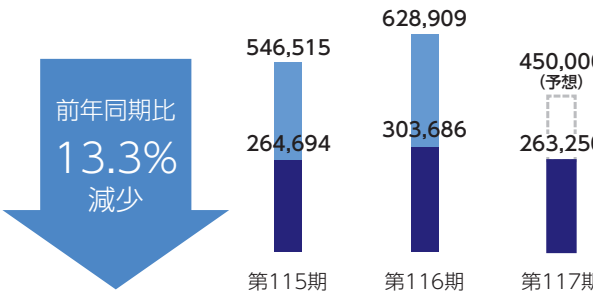
文化

過去最多・144名の学生が参加 第5回「ソーシャル×散走」企画コンテストを開催

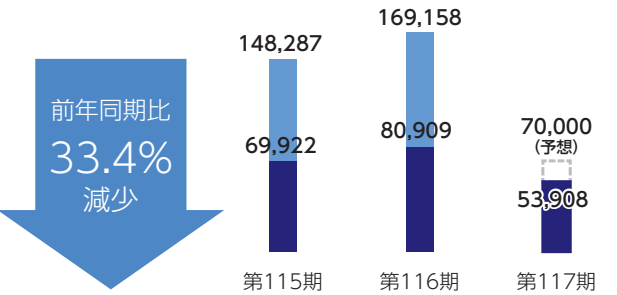
シマノは社会課題の解決に関心の高い学生を対象として、“環境・交流・健康”をテーマに持続可能な地域社会を育む散走企画を募集し、優秀作品を表彰する「ソーシャル×散走」企画コンテストを実施しました。今回は過去最多の40チーム144名の参加があり、レベルの高いコンテストになりました。受賞したチームのプレゼンテーションでは、地域の課題解決につながるアイデアだけではなく、地元の方々との交流や実際の散走の様子も紹介され、地域への愛を感じることでできる企画となりました。



■ 連結売上高 (単位：百万円)



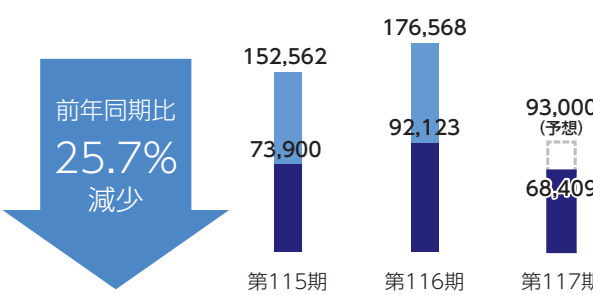
■ 連結営業利益 (単位：百万円)



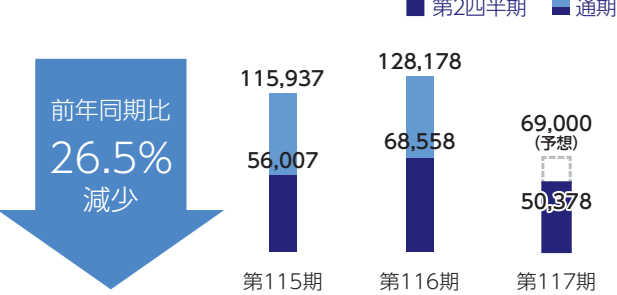
■ セグメント別の売上高と営業利益の状況

第117期 第2四半期	売上高 (単位：百万円)	増減率 (前年同期比)	営業利益 (単位：百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	204,986	△ 17.7%	42,093	△ 39.5%
釣具	58,027	7.0%	11,843	4.5%
その他	236	△ 4.9%	△ 28	—%

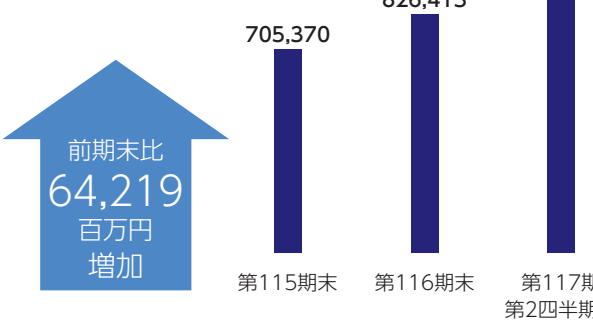
■ 連結経常利益 (単位：百万円)



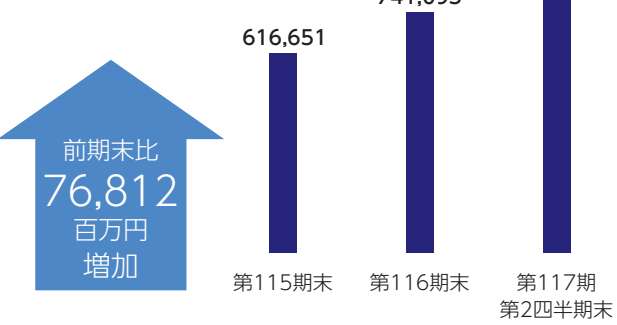
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



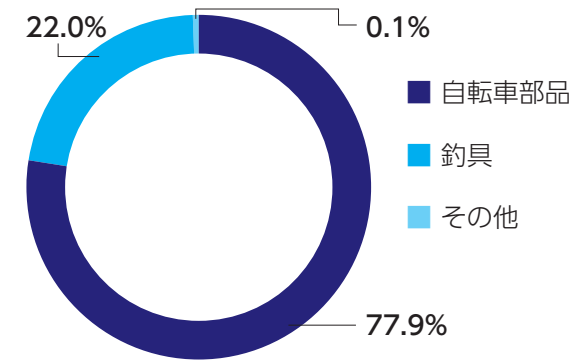
■ 連結総資産 (単位：百万円)



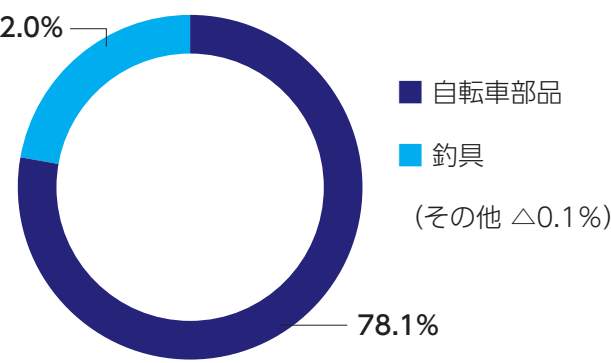
■ 連結純資産 (単位：百万円)



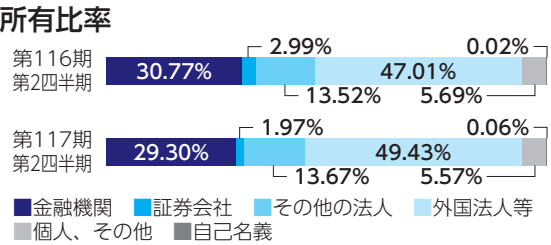
■ セグメント別の売上高比率(第117期第2四半期)



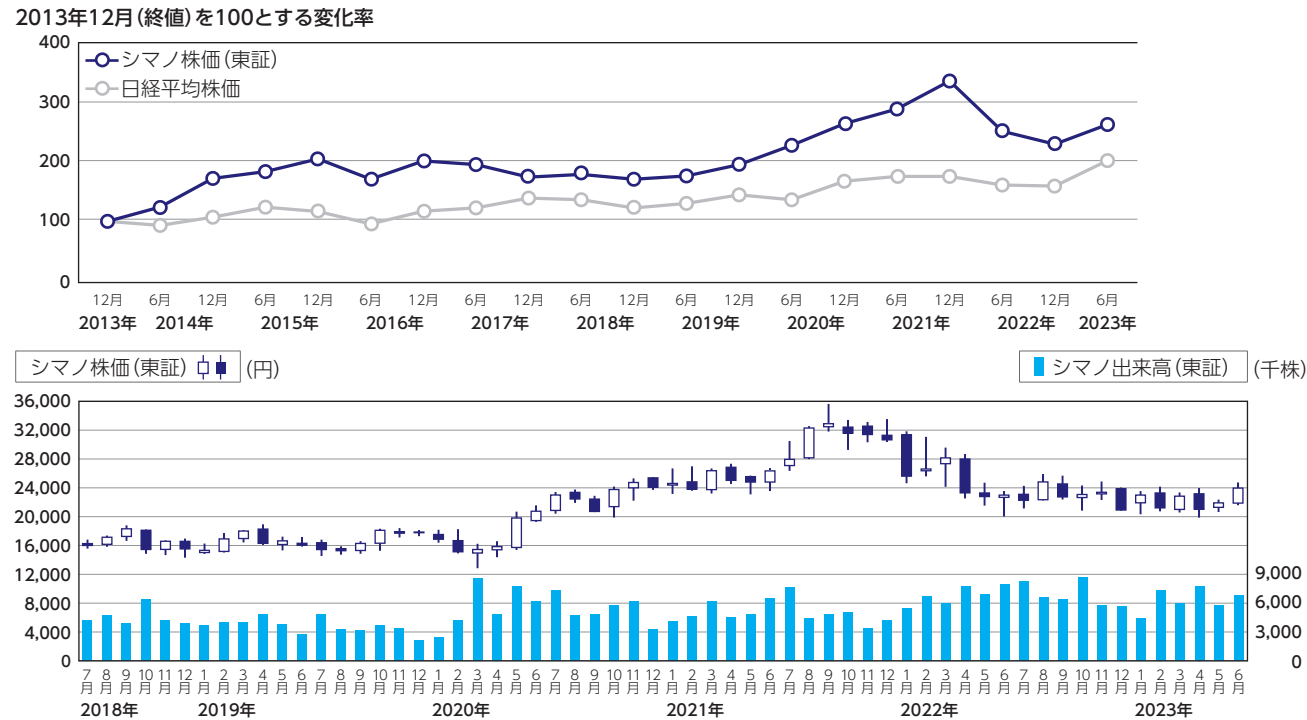
■ セグメント別の営業利益比率(第117期第2四半期)



- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式の総数 90,460,000株
- 株主数 9,655名
- 単元株式数 100株



株価チャート



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,593	11.72
湊興産株式会社	7,864	8.70
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,219	5.77
JP MORGAN CHASE BANK 380055	2,956	3.27
株式会社スリーエス	2,171	2.40
日本生命保険相互会社	1,801	1.99
株式会社りそな銀行	1,711	1.89
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,416	1.57
STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234	1,412	1.56
BANK PICTET AND CIE (EUROPE) AG, SUCCURSALE DE LUXEMOURG REF UCITS	1,375	1.52

(注) 持株比率は自己株式 (56,289株) を控除して計算しております。

社名

株式会社シマノ

英文社名

SHIMANO INC.

創業年月

1921年2月

設立年月

1940年1月

資本金

35,613百万円

事業内容

自転車部品、釣具、
ロウイング関連用品等の製造販売

本社

〒590-8577
大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

U R L

https://www.shimano.com

役員

代表取締役会長兼CEO

島野 容三

上席執行役員

清谷 欣司

代表取締役社長

島野 泰三

執行役員

大津 智弘

代表取締役副社長

豊嶋 敬

執行役員

大竹 正浩

代表取締役副社長

津崎 祥博

執行役員

吉田 保

常務取締役

チア チン セン

執行役員

金井 琢磨

社外取締役

一條 和生

執行役員

中野 敬介

社外取締役

勝丸 充啓

執行役員

赤川 満

社外取締役

榊原 定征

執行役員

島野 豪三

社外取締役

和田 浩美

執行役員

島野 勇三

常勤監査役

平田 義弘

常勤監査役

樽谷 潔

社外監査役

野末 佳奈子

社外監査役

橋本 敏彦

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	3月	株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号
基準日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年 6月30日	事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 (https://www.shimano.com/jp/ir/electronic.html) ただし、やむを得ない事由によって電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞 に掲載いたします。	電話照会先	☎ 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
		ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency
		よくあるご質問 (FAQ)	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトで確認いただけます。
		証券コード	7309